

山 行 報 告 書

山行報告者： 田中

山 域・山 名： 三原山・新山（758m） 東京都大島町（伊豆七島）	
入山日又は期間： 令和7年11月2日(日) ～3日(月) （船中泊）・日帰り	
プラン担当者 正：田島 副：田中	
参 加 者	L：田島 記：田中 報：田中 鈴木、山崎、金澤、久保、アムラ
	男 4名、女 3名、計 7名
	
	
11月2日(日)	集合時間： 午後8時40分 集合場所： 浜松町駅北口
山行概要 11月2日(日) 3日(月)	船料金 スーパー島トクきっぷ（往復）6,000 円 竹芝桟橋22：00→（さるびあ丸・船中泊） →6：00大島岡田港6：10→6：40温泉ホテル7：00→（温泉コース） →8：23剣ヶ峰8：23→8：38三原新山8：42→8：56火口展望台 9：11→9：15火口西展望所9：21→10：08赤ダレ10：14→ 10：51櫛形山10：57→11：18温泉コースとの分岐（昼食）11：32→（テキサスコース）→12：22登山口→12：47大島公園（バス停） 12：53→13：10岡田港…（べっこう寿司）…14：30出航→ 19：00竹芝桟橋→浜松町駅→埼玉各市
感 想	事前に各自で船の予約をしたため、竹芝から大島までの船旅は10人前後の小部屋にほぼバラバラに入室した。各部屋は数人の配置で、船の揺れも少なく、大島まで比較的ゆっくり過ごすことができました。 岡田港からバスに乗り約30分で温泉ホテルに到着。簡単に朝食を済ませ、三原山に向かう。ホテル前で、地元の方から「昨日は風が強くハイカーはたいへんだったようだ。あなた達は持っている」と祝福されたが、さてどうなるか安心はできなかった。 前方に遮るものはなく、三原山を目指してひたすら進んでいく。すすきの原が陽に映えて綺麗だった。しばらくは人の姿はなく、やがて溶岩が草原上に現

われてきて噴火が現実だったことを知らされた。本格的な登りが始まると前を行くハイカーの姿が目に入ってきた。先に登り始めた人が以外に多かった。

風は段々と強くなり、稜線に出ると横風に身体が流され、飛ばされそうになりながら、剣ヶ峰を経て三原新山に到着。周囲に遮るものがないので、富士山は早い段階から見ることはできたが、この時期にしては、冠雪は少ない。

昨日の風はどれほど強かったのか想像がつかなかった。

ここから火口展望台を経て火口西展望所と廻り、少し引き返して表砂漠コースを下って、水のない幻の池に降りる。赤ダレを見学した後、楕形山に。右手に裏砂漠を見下ろしながら温泉ホテルの見える分岐点に着き、昼食。バスの出発時間を計算して、テキサスコースを下る。出発したホテルの標高が500m近く、バス停の大島公園の標高は100mくらいなので、下りは400mほど下に降りなければならない。実際、荒れた道を、かなり時間を要してバス停に到着。出発時間の6分前だった。

風があった分、三原山の周回コースは360度の素晴らしい展望で、富士山、房総半島、海に浮かぶ利島やその先の島々も見ることができ、十分満足のいく山行であった。



(ネット管理部: kaihou@miyagaku.sakura.ne.jp へ送ってください)